



福祉の充実推進、不登校・引きこもり対策について
公明党 星 伸一

問 急激な物価高騰に対する福祉施設への支援策と、福祉人材および賃金水準の確保について伺います。

答 (保健福祉部次長) 急激な物価高騰は福祉施設にも大きな影響があることを認識しており、支援の検討を早急に進めています。福祉人材の確保は社会的な課題ですが、本市では独自に社会福祉協議会が実施する福祉の専門職育成研修への財政支援を行っています。また、報酬改定が令和6年度に予定され、福祉事業所の安定的な運営に向けた情報収集や近隣自治体との連携を図り、国に働きかけを行います。

問 増加する不登校児への学習機会の確保と選択肢の増加について伺います。

答 (教育担当理事) 教育支援教室「びなるーむ」や民営フリースクールなどと連携を図り、学びを保障する体制づくりを進めるとともに、タブレットを活用した学習支援を行い、学びの選択肢を広げています。

問 ひきこもり対策について伺います。

答 (市長) 引きこもり支援は、令和4年度からアウトリーチ支援に特化した専門員を配置し体制を強化したことで、専門的かつ柔軟な対応が可能となりました。

その他の質問

- ・公園の充実について
- ・南部地域の交通不便地域への対応について



通学路及び生活道路の歩道整備について
政進会 大塚 真樹

問 市民が安全に生活できる環境、保護者としても子どもを安心して学校に送り出せる環境づくりは、市として最優先に取り組まなければいけない課題だと思います。U字溝をかさ上げした歩道は、道幅も狭く、高さがあつたり、蓋が不安定なので事故のリスクが高くなります。歩道の危険性について市の認識を伺います。

答 (市長) 歩道整備は海老名市道路交通マスタープランに基づいて、幹線道路や通学路を中心に、国が定める基準に基づき整備を進めています。幅員の狭い歩道が通行に不便なことは認識していて、順次、安全対策を講じて対応しています。

問 (まちづくり部次長) 現在は、車道と歩道の高さを合わせた段差の少ない歩道を基本としていますが、既存のかさ上げ歩道を再整備する際は、道路の高さが変わることと宅地の出入口や塀に影響するため、地域・地権者などの事業へのご理解、ご協力が必要と考えています。

問 危険箇所を発見した場合の通報手段について伺います。

答 (まちづくり部次長) 電話、ホームページ、手紙、窓口のほか令和5年4月からLINEでの通報の運用も開始しました。

その他の質問

- ・市における都市型農業の未来について
- ・病児・病後児保育事業の現状について



小・中学校給食費無償化についてなど
日本共産党 鈴木 さよ子

問 憲法では「義務教育は、これを無償とする」と定めています。授業料や教科書代の他にも、市では教材費などの補助があります。給食は、食育であり教育の一環です。給食費の無償化について、見解を伺います。

答 (教育長) 中学校給食実施検討会の議論を基に教育委員会は方針を定め、学校給食費はセーフティネットを前提として保護者負担を原則とし、給食費を含む学校に係る費用全般についての支援拡大策を検討しています。その支援の中で、教材費の無償化について一歩踏み出したところです。

問 南部地域は商店や診療所が少なく、特に高齢者や障がいのある方が、日常の買い物や通院に不便を強いられています。市の考えを伺います。

答 (市長) 高齢者などが不便にならないように移動販売などの要望や、ユーバスの運行など移動手段についても一生懸命やっています。

問 ごみ集積所に分別のルールを守らないごみが出された場合、管理組合や有志の方々が指定収集袋を用意して対応しています。この状況に市の見解を伺います。

答 (市長) 指定収集袋を利用することなく、集積所の「清掃ごみ」と普通の袋に記載していただければ回収いたします。

その他の質問

- ・移動支援について
- ・移動販売車の充実について



厚木駅周辺の活性化について
子育て環境づくりについて
涼風の会 吉田 みな子

問 厚木駅を起点にしたユーバスのルートを望む声があり、この点についての市の見解を伺います。また、満員でユーバスに乗れなかったとの声も聞きますが、乗り切れなかった件数と対応状況を伺います。

答 (市長) 4月から実施予定の第2期実証運行で厚木駅前広場をユーバスの停留所にするのを、すでに具体的に検討中です。

答 (理事兼まちづくり部長) 乗り切れなかったのは9件ですが、特定の便に限られており、5分後の便で対応できています。

問 保育園に入るための活動(保活)で疲弊する声が多く寄せられています。市の待機児童解消に向けた具体的な取り組み、また、来年度の待機児童数の見込みと保育園に入れなかった場合の対応を伺います。

答 (市長) 保育所の新設を促進して定員を毎年拡大していますが、需要の増加がそれを上回っています。今後も待機児童解消に向け、保育所の新設を促進します。

答 (保健福祉部次長) これから2次募集もあり、見込みを答弁する段階ではありません。入れなかった方には2次募集の案内や、認可外保育所など他の保育サービスも案内するなど丁寧な対応に努めています。

その他の質問

- ・市民の生活応援をするための取り組みについて

